

平成24年第2回福岡県後期高齢者医療広域連合議会（定例会）の結果

1 議員の出欠 出席22人（欠席12人）

2 議事の概要

（1）広域連合長提出議案

- ・原案認定 2件（議案第9号～議案第10号）

議案第 9号	平成23年度福岡県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算
議案第10号	平成23年度福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算

- ・原案可決 2件（議案第11号～議案第12号）

議案第11号	福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金条例の一部改正について
議案第12号	福岡県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

（2）議案質疑

なし

（3）一般質問（1件）

	氏名	市町村	要 旨
1	柳井 誠	北九州市	<p>1 後期高齢者医療制度をめぐる状況と本広域連合の見解について</p> <p>国の動きとして、現行制度の継続の可能性が出て、流れが大きく変更されようとしている。この事態について、法改正を前提に事業をすすめてきた広域連合としてどのような立場で対応するのか。答弁を求める。</p> <p>2 短期保険証発行と運用について</p> <p>市町村の催告状況を把握しておらず、今年度から窓口対応の集計を行っている。なぜ、今まで集計・把握しなかったのか。また、今回の集計結果をいかに活用するのか。説明を求める。</p> <p>3 普通徴収における滞納、また受診抑制含む生活実態の把握について</p> <p>月額1万5千円未満の年金所得者の滞納率、短期保険証交付率を求める。また、低所得の滞納者が納付した場合でも、一部負担金が払えないことによる受診抑制の実態を把握しているか。保険料の低所得者への条例減免、一部負担金の減免・猶予制度の拡充の必要性について答弁を求める。</p> <p>4 健康長寿医療計画の進捗管理・検証（中間評価）に関連して</p> <p>本県の後期高齢者医療費は9年連続（H14～H22）全国1位であり、その上がり続ける要因と健康長寿医療計画での解決策について、見解を求める。</p>

		<p>受診率低下等の要因分析を行い、見直しの検討を行う必要がある。見解を求める。</p> <p>また、受診奨励のため500円の負担金は、廃止を検討すべきではないか。答弁を求める。</p>
	5	<p>保険料条例減免について</p> <p>所得減少の条例減免について、北九州市国保や福岡市国保では広く適用されているが、後期高齢者医療制度では減免が必要な対象者のごく一部に適用されているにすぎない。条例どおりの厳正な適用にむけて実態を調査し、是正を求める。</p>

(4) 請願

請願第2号「後期高齢者医療制度に関する請願」

請願者：福岡市博多区博多駅前一丁目19-3博多小松ビル2階
福岡県社会保障推進協議会（会長 松井 岩美）

紹介議員：柳井 誠 議員（北九州市）

請願項目：平成24、25年度の保険料を上げず、高すぎる保険料を引き下げることに。

低所得者に対し福岡県独自の保険料減免制度を設けること。

保険料未納者に対して短期保険証の発行をやめ、正規の保険証をすべての高齢者に発行すること。

審査結果：不採択

(5) 諸般の報告

広域連合議会議員の異動報告

新議員氏名：吉村 勝（糸島市議会副議長）
井上 保廣（太宰府市長）
武末 茂喜（那珂川町長）
西原 親（みやま市長）
平畑 雅博（福岡市議会議員）

例月出納検査（平成24年1月～平成24年5月分）の結果報告

定期監査（平成23年4月～平成24年3月分）の結果報告